



日本共産党

北区議会議員

No.180 2011.9.15

のの山けん区政レポート

日本共産党北区議員団

〒114-8508 王子本町1-15-22

ご相談は
お気軽に **090-2156-3510**

<http://www3.kitanet.ne.jp/~nonoyama/> E-mail nonoyama@kitanet.ne.jp

安心の子育て環境を

“放射線が心配” 保育園・学校への 弁当持参認めさせる



質問する、のの山けん区議

区議会定例会・のの山区議が個人質問

13日、北区議会第3回定例会本会議で、のの山けん区議が個人質問に立ち、安心して子育てができる環境づくりと赤羽地域の諸課題について、区長の姿勢を質しました。

子育ての問題では、まず放射線から子どもを守る対策の強化を求めました。「わが子が被ばくするかもしれない」という危険に直面したお母さんたちの生の声を紹介しながら、保育園や学校現場での親身な対応を求め、給食や水筒を持参したいという保護者の要望を受け入れるべきだと問いました。

これに対し、区長は「個別に、ていねいに対応する」と答弁。のの山区議が再質問で「それは、ていねいに『断る』ということか、それともていねいに『認める』ということか」と質すと、区側は「すでに保育園でも小学校でも弁当を持ってきている子どもはいる。断るということでは決してない」と答弁、持参を公式に認めました。

保育所面積基準 北区は緩和せず

のの山区議はさらに、経費削減と引き換えに、職員の賃金引き下げ、労働条件の劣悪化、ひいては職員の大量退職を引き

起こしかねない子育て施設への指定管理者の導入を抜本的に見直すことを要求。指定管理者への応募が先細りとなる中で、募集を広げるために、これまで「禁じ手」としてきた株式会社を門戸を開くようなことがあつてはならないとのべました。また、公的保育の解体をねらう「子ども・子育て新システム」については「国に対し撤回を求めよ」と迫りました。

さらに、「地域主権改革」一括法で北区でも保育所面積基準の緩和ができることとされた問題では、のの山区議が「保育条件の切り下げにつながる緩和はおこなうべきではない」と求めたのに対し、区は「本区では面積基準の緩和は必要ないと考える」と明言しました。

(※裏面に続く)

(※表面より)

赤羽地域の諸課題では、最初に赤羽公園の整備についてとりあげました。

誰もが憩える

赤羽公園に

のの山区議は、日本共産党としてとりくんだ実態調査をふまえて公園の整備方針を5点にわたって提案、新しい問題として、公園内に住居を構えている路上生活者の退去をめざして区の担当課や住民組織などで、関係者会議をたちあげてことを提起しました。

区は「これまでも公園などのパトロールによる巡回指導をおこなっており、今後とも地域のみなさま、警察署などと連携を図り、

対応していきたい」と答えました。

赤羽駅改修による影響の検証を

続いて、9月23日に55店舗のエキナカ商店街「エキキュート赤羽」が全面開業するJR赤羽駅リニューアル計画について、「JRはこの計画で駅の利便性が向上し、地域が活性化するとはいっているが、

住民むけ説明ではその根拠がしめされなかった」と指摘。JR東日本が「『運輸以外』の営業収益を全営業収益の4割程度にまで引き上げる」(グループ経営ビジョン2020―挑む―)という目標を掲げ、エキキュートなどの開発で、最大の利益を上げようとしている

る姿勢を批判しました。

その上で、JRに流動シミュレーションの提出を求め通行の安全を確認することや、エキナカ商店街による地域経済の影響について実態調査をおこなうよう区長に求めました。区は「JRに求めてゆく」と答えました。

赤岩中新校舎の太陽電力拡充を

さらに、2014年

4月に開校する赤岩淵中学校新校舎に設置される太陽光や太陽熱発電装置は、原発からの脱却をめざし、思い切って拡充することを求めました

区は、「規模の拡大の可能性について検討する」と答えました。



原発はゼロに!

日本共産党志茂・赤羽後援会と、のの山けん区議は10日午後、ララガーデンで「原発からの撤退」を求める署名宣伝行動をおこないました。1時間で51筆の署名が集まり、「いつも応援しています。原発は早くなくしてほしい。がんばって」と激励が寄せられました。



赤羽公園の整備を

日本共産党の赤羽岩淵、志茂、志茂南の3支部と、のの山けん区議は9日、今月初めにおこなった現地調査をふまえ、赤羽公園の整備に関する要望書を北区に提出しました。壊れた設備の補修・改修や、土砂流出・違法駐輪・路上生活者などの対策を求めました。